

# No. 1503

## 日本は輸入努力

— ボン・サミット —

中曽根首相は主要先進国首脳会議（サミット）に出席のため4月30日ボンに到着。

サミットを前にコール西ドイツ首相とライン川下りを楽しみました。特大ワイングラスで「日独協調」を乾杯。

第11回主要先進国首脳会議は5月2日から4日まで西ドイツのボンに日本、アメリカ、イギリス、フランス等7ヶ国首脳が出席して開られました。

今回のテーマは世界の景気にかげりが見える中で各国がどのような役割を分担するかが大きな問題となりました。

中曽根首相は「日本は市場開放を推進して輸入増大に努力する」と表明。年毎に難題の山積するサミットですが世界の平和維持のために来年日本で行なわれるサミットを成功させたいものです。

## 公立初の浮世絵美術館

千葉県鋸南町保田に公立では初の浮世絵美術館が誕生しました。正式名は「菱川師宣記念館」厚海鋸南町々長は設立した理由を「師宣が浮世絵の始祖であり、地元保田出身で故郷を愛していたこと、青少年に愛郷心を育てて欲しいため」と話しています。菱川師宣は17世紀江戸を中心に浮世絵創世紀の絵師として活躍。「見返り美人」は記念切手の第1号として有名です。

今回の名作展には師宣20代のとき父親の刺しゅうの下絵を描き将来の絵師としての才能を示す「ねはん図」を始め初期の版画から晩年の肉筆画まで多彩な作品が展示されています。

記念館が出来てから新発見された版本や、同時代の絵師や長男師房の絵も並べられています。館長の仁科さんも地元や国内の浮世絵の鑑定を頼まれて大忙しとか。

また、次回の展示作品の企画、検討など職員と共に張り切っています。

3月21日開館して8,000人を超える入館者を集める人気です。

このユニークな師宣記念館のあり方は全国の美術関係者から注目されているようです。